

## 校長室だより第 39 号（令和 8 年 1 月 23 日）

1 月 21 日（水）に、小倉小学校を会場として、千葉市小学校球技大会が開催されました。最強・最長寒波が日本列島を直撃したため、とても寒い一日でした。そんな寒い中でも子ども達は一生懸命に走り、声を出し、応援し、会場はその熱気に包まれていました。

会場には桜木小学校・若松小学校・若松台小学校、そして小倉小学校の 4 校が集まりました。さすが、各学校の代表選手。開会式に臨む姿勢がすばらしい。誰もがこれから試合に臨む引き締まった顔をしています。

小倉小学校の代表児童が声高らかに選手宣誓を行い、戦いの火蓋は切られたのでした。

ここで、簡単に今大会の大まかなルールを説明します。

- ① 4 校のトーナメント。勝ったチームが決勝に進み、負けたチームが 3 位決定戦に進む。
- ② 同点だった場合は、サッカーは PK、バスケットボールはフリースロー対決で勝者を決める。
- ③ 選手に選ばれた 24 名を、2 試合の中のどこかで必ず出場させなければならない。

私自身、この③のルールが小学校段階では必要だと思っています。サッカーなら上手な 11 人 +  $\alpha$  が、バスケットなら上手な 5 人 +  $\alpha$  がいれば、試合に勝つ可能性は高くなります。でもこのルールがあるおかげで、その球技の経験が乏しい仲間のレベルを上げていかないと勝つことができません。そこに自然と声掛けが生まれ、仲間を励まし、共に成長しようとする姿勢が育つ気がします。また、このルールのおかげで、多くの子ども達がピッチに立てるようになりますし、多くの子ども達がスポーツの楽しさを味わえるようになります。これが、私がこのルールを支持している理由です。

バスケットボール 1 回戦は小倉小 VS 桜木小です。第 1Q からエンジン全開な小倉の子ども

達。8 対 0 とリードし、第 3Q が終わった時点で 12 対 0 と更に点差を広げました。このまま  
楽勝かと思いました。選手たちもそう思ったかもしれません。そこに油断があったわけでは  
ないのですが、第 4Q に桜木小の逆襲が待っていました。開始してから 2 分で、12 点あった  
リードは 6 点となりました。

つづく